

令和元年 12月 26日

<本社支部将棋同好会 年間活動報告>

世話人 小黒光昭

○平成30年10月29日 活動のための道具類確認

本社支部総会后、発起人、及び出井氏両名がカブクラブに立ち寄り、将棋の盤、駒が3セット分存在することを確認、両名の間で1回/月程度の活動を実施するとの合意が得られたため、原会長に対し、その旨報告。

第一回開始日程を11月26日(月)とした。

この日に、出井-小黒で練習対局を試みたが、両者に時間的余裕がなく、途中で終了している。

その後、古くの将棋仲間であった橋本氏の連絡先を岡村様に調査頂いた結果、連絡が取れ、参加の同意が得られたため、11月26日から参加頂ける事となった。

○平成30年11月26日(月) 活動開始

発起人、出井氏、橋本氏の3名が参集、練習試合を開始した。

(試合結果)

・小黒-橋本戦 小黒○

橋本の4間飛車に対し、小黒の居飛車戦。橋本が圧倒的有利の状態を終盤を迎えたが、小黒の苦しまぎれの「詰めろ」を橋本が見落とし大逆転で橋本が「頓死」した。橋本が1手受けていれば何の問題もなかった。

。。。言葉の定義。。。

「詰めろ」⇒受けなければ次に「詰む」状態。受けがない状態を特に「必死」という

・橋本-出井戦 橋本○

出井の4間飛車-橋本居飛車戦。橋本の腰の重い指し回しが光り、出井もしぶとく粘るも、徐々に橋本が優位を拡大、そのまま押し切った。

○平成30年12月25日(火)

岡村さんに、将棋同好会活動開始の広報メールを発信頂いたが、この日での新たな参加者はおられず、前回と同様、発起人、出井氏、橋本氏の3名で練習試合。

(試合結果)

・小黒-出井戦 出井○

出井の4間飛車-小黒の居飛車戦。小黒がうまく立ち回り、出井の失着もあり、小黒が有利に展開、小黒の勝ちが明らかになっていた矢先、出井の「詰めろ」に気づきながら、小黒の指は脳の指示とは全く異なる、「王手」ではない攻め手の駒を動かしていた。本人自らも信じられない「ホカ」で頓死した。

・出井-橋本戦 橋本○

前局と同じく、出井の4間飛車-橋本居飛車戦。好局で、1手ごとに優劣が分かれる難解な将棋となった。橋本の仕掛けに対し出井がうまく立ち回り、出井の逆襲が功を奏したかに見えたが、橋本の真骨頂である「受け倒し」の神髄を見せ、最後は見事に橋本が玉を「即詰み」に打ち取った。

○平成31年1月28日

本日は、岡村様からの将棋同好会発足案内に基づき、妹尾様が参加された。妹尾様は当日囲碁同好会に参加されておられた宮田様にも声をかけられ将棋への参加を呼び掛けて頂いている。昨年来から御声掛けさせて頂いていた山本恒雄さまとも連絡は取れていたが、お忙しそうで、本日の参加は頂けていない。

(本日の成績)

妹尾氏：20年ぶりの将棋とのことで今日は肩慣らし。宮田氏には勝ちであったが、橋本、出井、小黒の3名に対しては実力を発揮できなかった。徐々に復活されることを期待。

橋本氏：出井、小黒、妹尾 3名に勝ち、好調

出井氏：妹尾に勝ち、橋本に負け、小黒とは時間切れ次回に持越し

小黒：橋本に負け、出井とは時間切れ次回に持ち越し、妹尾に勝ち。

宮田氏：妹尾に負け。やはり囲碁に専念されるご意向を示されている。

○平成31年2月25日

本日は小黒、出井、橋本の3名に加えて囲碁の宮田様の参加があった。前回より参加頂いている妹尾様は残念ながら所用で欠席。

なお、上田 稔様より寄贈頂いた将棋盤を確認させて頂いた。

山本恒雄様にも活動日の確認メールを配信していたが未だ参加されていない。

(本日の成績)

小黒：宮田氏と2戦。小黒が攻めをせり、2戦とも圧倒的に不利の状況。特に2戦目は明らかに小黒負けの状況から、宮田氏の攻めをせりから大逆転。2戦とも小黒が辛勝した。

出井氏とは前回持ち越した場面から再開、小黒不利の状況のまま推移、出井の勝ち

橋本 - 出井戦：通常通り出井の振り飛車、橋本の居飛車の戦い。持久戦模様から徐々に橋本が優勢を拡大し、そのまま押し切った。橋本の好調が続いている。

宮田氏：残念ながら上記通り小黒に2敗したが、2戦とも惜しい戦い。実力は有段者に近いものとする。今後の活躍が期待できる。

○平成31年3月25日

本日は、小黒と出井氏のみ参加。

なお、加叻 R&B 企画部長（前 PFSV 事業部長）の出口博之氏の御子息の出口若武様が、プロの将棋棋士を目指されておりましたが、この3月時点でようやくプロの養成機関である「奨励会」3段リーグを勝ち抜き、4月から晴れて4段に昇段され正式の「プロ棋士」となられた。これからは、「職業」としてのプロ棋士としてご活躍されることとなった。

(本日の成績)

小黒 - 出井戦：出井の先手3間飛車穴熊、小黒の居飛車の戦い。中盤まで互角の戦いであったが、小黒の角の逃げ場の刃を出井がうまく突き、攻勢に転じ、穴熊の堅陣の利が生き、そのまま出井が押し切った。

○平成31年4月22日

本日で6回目の活動。同好会開始後半年を経過したが、本日も参加者は、小黒、橋本、出井、の3名で、なかなか新たな、活動参加者は見当たらない。但し、囲碁同好会のMバ-からのご協力を頂けており、抜け番のお相手を頂いている。感謝。

(本日の成績)

・小黒 - 橋本戦：小黒○

相居飛車模様の出だしから橋本が右玉 - 向い飛車作戦に転じ、小黒の2筋からの攻略を狙った。この作戦に小黒が混乱をきたし、居玉のまま金、銀4枚がバラバラの状態を余儀なくされ見た目には圧倒的に不利とみられる状況となった。この場面から橋本は銀損覚悟の攻撃に打って出、小黒陣に馬(角成り)を作ることに成功、調子良い場面となったが、小黒は得た銀を受けに投入、バラバラであった陣形が一拳にまとまり、隙がなくなった。以後、小黒からの、橋本の玉の弱点をついた攻撃が功を奏し、そのまま小黒が押し切った。

小黒、久しぶりの勝利。

・橋本 - 出井戦：橋本○

この二人の戦いは当面 出井の振り飛車、橋本の居飛車の戦型が続く本日は、出井は振り飛車 - 穴熊戦略で臨んだが、序 - 中盤まで互角の戦いながら、わずかと思われる優位性を橋本が生かしそのまま橋本が押し切った。出井は橋本にまだ勝てていない。

○令和元年5月27日

本日も参加者は小黒、橋本、出井、宮田の4人。宮田氏は囲碁との掛け持ち。

(本日の成績)

・小黒 - 宮田戦：小黒○

最近プロでもはやりの「角交換型相居飛車」でスタート。宮田の隙に乗じた小黒の攻めが功を奏し、宮田の堅陣を突破、そのまま押し切った。

・橋本 - 出井戦：相変わらず出井の振り飛車、橋本の居飛車戦。途中、橋本の銀損の攻めでうまくいったかに見えたが、出井が巧にあしらい、出井の有利と思われる場面が続いたが、出井のわずかな失着をつき橋本が銀損を取り返し接戦から橋本やや有利の場面に持ち込んだ。しかしながら、本日は出井が腰の重い指し回しが光り、やや不利と思われた局面から攻めに転じ、橋本が自玉の詰みを見逃し攻め合いの手を指したが出井が鮮やかに即詰めに打ち取った。出井は、同好会発足後、初めて橋本に勝利した。

・出井 - 小黒戦：出井の3間飛車に対し、小黒位取り戦法で対抗。小黒の玉頭位取りの伸びすぎの欠点をとらえ、出井は小黒の玉頭に飛車を移動、攻めに転じた。小黒は角を切り守勢に陥った。この情勢のまま午後5時を過ぎた為、この場面を保存し次回まで持越し。

次回開催日は6月24日(月)で合意。

○令和元年6月24日

本日も参加者は小黒、橋本、出井 の3名。妹尾様から小黒宛の炷があり、なかなか参加できていないことへのお詫びの言葉があった。

(本日の成績)

- 小黒 - 橋本戦：小黒○

4月度と同様、橋本の比初飛車 - 右玉戦法と小黒の居飛車戦となった。序盤での一歩得を小黒が有効に生かし、右金の活用もうまくいった事、橋本の飛車がうまく活用出来なくなったこともあり、小黒が有利に展開、そのまま押し切った。

- 橋本 - 出井戦：出井○

出井の振り飛車 - 橋本の居飛車船囲い の古典的出足からの戦い。先月度から、出井が、橋本の対振り飛車対応に慣れてきたようで、今月もしっかり指しまわし、僅差の将棋をものにした。橋本は、家での「初対局」での「早や指し」戦の悪影響か、本来の「じっくり指す」指し回しが影を潜めてしまっている感。駒損の攻め筋が目立つ。

- 出井 - 小黒戦：出井○

五年度の「指し掛け」局面から再開。出井の「穴熊玉」に対し、小黒の指し切り模様で不利な状況から再開。小黒が、出井陣に唯一手がかりとして残した「と金」の有効活用をはかり、差を詰めたやに見えたが、終盤、玉の「早や逃げ」すべき局面で攻め合いの悪手を指し、出井の「究極の歩打ち」を見逃して、出井の快勝となった。

次回は7月29日(月) 12:00から活動予定。

○令和元年7月24日

本社支部の行事企画委員会に出席、将棋同好会の発足経緯、昨年11月以降の活動状況、今後の計画(「思い」バール)などを報告した。現状の問題点は参加人員が増えない事。他支部、従業員クラブ等での加初全体の将棋活動状況の調査を岡村様に要請した。

○令和元年7月29日

本日の参加者は小黒、出井、橋本の3名に加えて、囲碁部の宮田様が囲碁の「開け番」時に、将棋にも参加頂けた。

(本日の成績)

- 橋本 - 小黒戦：小黒○

相居飛車戦。小黒の玉形の悪さを橋本が突き、攻めに出て橋本優位の情勢が続いたが、決め手に欠き、局面が落ち着いた。なお橋本優位と思われたが、小黒が薄い攻めをつないでいるうちにいつのまにか逆転

模様で、橋本の受け間違いもあり小黒が逆転で押し切った。

• 橋本 - 出井戦：出井○

いつもの通りの出井の振り飛車に対し、橋本は左高美濃囲いに組み持久戦の様相であったが、出井が橋本の攻めを軽くないし、今日も振り飛車の勝ちとなった。出井の好調が続いている。橋本の指し手に深みが感じられない。

• 出井 - 小黒戦：出井○

出井の振り飛車に対し、小黒は良いところなく、連敗が続いている。なにか攻略法の研究が必要。

• 宮田さん 2 敗：小黒、出井と対戦頂いた。2 局とも宮田さんの負けとなったが、二人を苦しめ、善戦。本格的に将棋に取り組めばすぐに有段者になれる事は間違いない。

次回は 8 月 26 日(月)に予定。橋本は仕事の都合上、当面参加は不可とのこと。出井、小黒の二人だけであっても活動は実施する予定。

○令和元年 8 月 26 日

本日の参加者は小黒、出井、及び囲碁から宮田氏、の 3 名。
橋本は仕事の関係上、当面 参加は難しそう。
土日での活動を検討した方が良いかも。

(本日の成績)

• 小黒 - 宮田戦：宮田○

宮田の振り飛車に小黒がとまどい、宮田氏が将棋に参加してから初めての勝利。

• 出井 - 宮田戦：出井○

相振り飛車でのめずらしい戦いとなったが、宮田のホカで「金損」になってからは一方的となり出井の勝利。

• 出井 - 小黒戦：通常とおり小黒の居飛車、出井の 3 間飛車の戦い。金 - 桂交換の小黒の駒得局面でやや小黒の有利と思われるところで差し掛け。次回に持ち越した。

次回は 9 月 30 日の予定。

○令和元年 9 月 30 日

本日は出井、小黒に加えて久しぶりに妹尾さんにご参加頂いた。囲碁から宮田さんの参加があり、4 名で活動。極力、出井と小黒は妹尾さんと対局するよう心掛けた。妹尾さんは、なかなか往時の勘を取り戻すのに時間がかかると思うが、粘り強く継続参加頂きたい。

前回時間切れで途中になっていた出井 - 小黒戦は「泥仕合」の様相を呈し、今回も決着がつかず、更に次回に持ち越した。

次回開催日は小黒の都合で 10 月 21 日に変更。

○令和元年 10月 21日

本日は、橋本が7月度以来の参加があり、小黒、出井、囲碁からの宮田さんを加え4人での活動となった。

(本日の成績)

- 小黒 - 橋本戦：小黒○

最近のこの対戦で続いている「相居飛車」戦となった。きわどい局面が終盤まで続き、最後に小黒の玉が詰むや詰まざるやの状況で橋本が♠か、橋本の指した手への小黒の受け手が逆王手になり決着。

- 出井 - 橋本戦：橋本○

従来通り、出井の振り飛車 - 橋本居飛車の対抗型。今回は橋本の「早仕掛け」が効を奏し、出井の反撃に問題があったようで中盤までに橋本が圧倒的優位に立ちこのまま押し切るものと思われたが、終盤、出井の苦し紛れの橋本玉近辺への攻めに橋本がが受けに回り始めた当たりから紛れてきた。結果としてなんとか橋本が出井玉を「即詰」に討ち取り、事なきを得た。橋本、久しぶりの勝利。

- 宮田氏成績： 出井、小黒と、各一局づつ練習対局を実施。連敗とはなったが、実力は有段者レベルと思われる。

次回 11 月度の開催日は、11 月 25 日で合意。

○令和元年 11 月 25 日

本日の参加者は固定メンバーの小黒、出井、橋本の3名。囲碁との併行参加の宮田氏は欠席。月曜囲碁同好会も参加者が減少傾向になっている様子。

(本日の対局結果)

- 橋本 - 小黒戦：小黒○

またもや相居飛車戦。このところ続いている、中盤～終盤入り口入り口までは橋本の方がやや指し易そうな局面から小黒の粘っこい攻めに対し、橋本の受け、逆襲に問題がありそうで、本日も小黒が辛勝した。

- 橋本 - 出井戦：出井○

通常通り、出井の振り飛車、橋本居飛車の対抗型。出井の振り飛車が好調で、橋本の攻めの際をついた反撃があっけなく決まり対小黒戦を含めて出井の勝率が高い。

- 出井 - 小黒戦：報告者の記憶が定かではないため、記載なし。たぶん出井の勝利？
だんだん報告者（小黒）の記憶力低下が著しくなってきた。

活動後、3人で簡単な忘年会を実施。橋本、小黒両名で来年度での打倒出井振り飛車を誓い合う。

○令和元年 12 月 23 日

本日は固定の出井、橋本、小黒に加えて、久しぶりに妹尾氏の参加を頂けた。感謝。
囲碁の宮田氏は、囲碁参加メンバーが少なく空き番がなかったため将棋への参加は頂けなかった。

(本日の対局結果)

・橋本 - 小黒戦：小黒○

橋本が、めずらしい「歹歩取り戦法」を採用、小黒は対局経験無く、
両者長考につぐ長考の応酬で終局までになんと 3 時間を要した。
最後は小黒の攻めが一手先行し、白玉の「詰めろ」を解消させた上で
橋本玉に受けの難しい「詰めろ」をかけた時点で橋本が投了。

上記対局以外は、出井、橋本、小黒ともに妹尾氏との練習対局に専念、数局ずつ実施。
3 名とも 90 歳近い妹尾氏を相手に手を抜く事なく全力で対応させて頂いたこともあり妹
尾氏の初勝利には至らなかったが、楽しんで頂いたことと察します。
90 歳を迎える妹尾氏は野球関係への活動の継続、麻雀への参加など積極的な幅広い行動
範囲をお持ちとのこと、敬意を表します。是非とも今後も継続して将棋同好会活動に
参加して頂けるものと期待しています。

以上